


## 令和4年(2022)度 研究サマリー

研究会名称	透析患者における活性型ビタミン D の心血管イベント抑制効果—日本透析活性型ビタミン D 試験 (J-DAVID)—													
代表者所属	大阪公立大学大学院医学研究科 血管病態制御学													
代表者氏名	庄司 哲雄													
研究方法・結果	<p>【研究方法】ランダム化比較試験として実施した J-DAVID 試験のデータを活用するために、「J-DAVID ランダム化比較試験の事後解析 (J-DAVID 公募研究)」との研究課題名にて大阪市立大学医学研究科で倫理審査の承認を受け (承認番号 4420)、公募研究を実施した。また、次世代育成を目指して、腎臓透析領域で優れた臨床研究の実施に携われた先生方との共同執筆の形の書籍を企画した。</p> <p>【結果①】J-DAVID 公募研究：2019年1月1日～2019年3月31日に公募を行い、5件の応募のうち、2019年4月26日に開催された選考委員会にて、以下の3課題が採用された。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">整理番号</th> <th style="text-align: left;">応募者</th> <th style="text-align: left;">課題名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019-01</td> <td>井関邦敏</td> <td>透析液 Ca 濃度と生命予後 (2.5 vs. 3.0)</td> </tr> <tr> <td>2019-02</td> <td>坂口悠介</td> <td>活性型ビタミン D 製剤介入効果の ALP 値による層別解析</td> </tr> <tr> <td>2019-04</td> <td>古志衣里</td> <td>透析患者におけるリンの経時情報活用による循環器病発症リスクの推定</td> </tr> </tbody> </table> <p>各研究課題の解析結果は、以下の通り論文報告された。</p> <p>【結果②】J-DAVID 関連書籍：J-DAVID 試験実施の舞台裏を克明に記録した書籍と、この領域のランダム化比較試験およびコホート研究実施の舞台裏や研究支援を含めた教育的書籍の2つを出版した。</p>		整理番号	応募者	課題名	2019-01	井関邦敏	透析液 Ca 濃度と生命予後 (2.5 vs. 3.0)	2019-02	坂口悠介	活性型ビタミン D 製剤介入効果の ALP 値による層別解析	2019-04	古志衣里	透析患者におけるリンの経時情報活用による循環器病発症リスクの推定
整理番号	応募者	課題名												
2019-01	井関邦敏	透析液 Ca 濃度と生命予後 (2.5 vs. 3.0)												
2019-02	坂口悠介	活性型ビタミン D 製剤介入効果の ALP 値による層別解析												
2019-04	古志衣里	透析患者におけるリンの経時情報活用による循環器病発症リスクの推定												
研究成果 (論文、学会発表、雑誌掲載等)	<p>2019-01 井関邦敏 透析液 Ca 濃度と生命予後 (2.5 vs. 3.0)</p> <p style="padding-left: 20px;">Iseki K, et al. Dialysate calcium, alfacalcidol, and clinical outcomes: A post-hoc analysis of the J-DAVID trial. PLOS One 17(9): e0273195, 2022</p> <p>2019-02 岡、坂口悠介 活性型ビタミン D 製剤介入効果の ALP 値による層別解析</p> <p style="padding-left: 20px;">Oka T, Sakaguchi Y, et al. Effects of alfacalcidol on cardiovascular outcomes according to alkaline phosphatase levels in the J-DAVID trial. Sci Rep 12(1): 15463, 2022</p> <p>2019-04 古志衣里 透析患者におけるリンの経時情報活用による循環器病発症リスクの推定</p> <p style="padding-left: 20px;">Koshi-Ito E, Inaguma D, et al. Associations of time-dependent changes in phosphorus levels with cardiovascular diseases in patients undergoing hemodialysis: results from the Japan Dialysis Active Vitamin D (J-DAVID) randomized clinical trial. Clin Kidney J 15(12): 2281-2291, 2022)</p> <p>「J-DAVID 試験から学ぶ腎臓・透析領域における臨床試験の実施」メディカ出版 (2022年7月発行)</p> <p>「CKD-MBD：日本からのエビデンス発信 High-Impact Clinical Researches and Trials」メディカ出版 (2022年7月発行)</p>													